

# 被服科だより

6・7月号

令和4年7月20日（水）

本格的な夏を迎え、厳しい暑さが続いています。この暑さの中、生徒たちは2週間の就業体験を終えました。生徒一人一人に高校生としての成長が見られた、貴重な体験だったと思います。

さて、被服科では1学期間、基礎的な知識や技能を身に付けるために、様々な取り組みを行いました。今回の被服科だよりでは、それぞれの教科での様子をお伝えしたいと思います。

## ☆3年生☆

「ファッション造形」では、ジャケット製作に取り組んでいます。試作をし、本番に入りました。パーツが多いですが、一つ一つの作業を確認しながら、集中して頑張っています。「生活産業情報」では、ジョブティーチャーの先生に、Wordの基本やビジネスマナーを教えてくださいました。すぐに理解し、パソコン操作が上達しています。「ファッションデザイン」では、総文祭への出品作品を製作中です。



## ☆1年生☆

「家政」では、「ファッション造形基礎」「生活産業基礎」「家庭基礎」の内容を取り入れて、生徒の実態に合わせて授業を進めています。手縫いの基礎とミシンの基礎から学び、巾着やBOXティッシュケース、エプロン作りに挑戦しました。企業内作業学習では、ミカンの皮むきを体験し、集中して作業をすることができました。



## ☆1年生☆

「ファッション造形基礎」では、手縫いの基礎とミシンの基礎からはじめ、ミシンの扱いが上手になりました。巾着やBoxティッシュケースなどを次々と完成させ、ハーフパンツの製作に入りました。初めてのロックミシンに苦戦していましたが、少しずつ慣れることができました。2学期の完成が楽しみです！！企業内作業学習では、“社会人として必要なスキル”を教えてくださいました。ゲームをしながら、協力することの大切さやコミュニケーションの方法を学ぶことができました。「生活産業基礎」では、さをり織りと裂き織りに取り組んでいます。自分たちのブランドを立ち上げて、販売会に向けて製品作りをする予定です。



「ファッションデザイン」  
総文祭出品作品を制作中  
お楽しみに！